

令和5年第3回定例会委員意見概要及び提言の方向性について

前回（9月29日）の特別委員会において、重点調査項目に関して出された各委員の意見概要は以下のとおりであり、これらの意見を総合し、委員会としての提言の方向性をまとめた。

重点調査項目2 地域資源ブランドの確立・発信について 地域特性を踏まえたブランドのあり方について

意見概要		提言の方向性	
①	地域資源のブランド化には、地域資源の現状を的確に把握することが重要である。（寺田委員・竹内委員・坂田委員）	1	【現況調査の重要性】 地域資源のブランド化には、地域資源の現状を的確に把握することが重要である。そのため、現況調査の実施にあたっては、対象者の年齢や家族構成等を考慮し、適切な調査項目を設けるほか、区外在住者も対象に加える必要がある。また、調査結果は、データ分析や課題と合わせて公表すべきである。
②	地域資源のブランド化には、地域資源に関する現状のデータを正確に把握することが重要である。調査の実施にあたっては、対象者の年齢層や家族構成等についても考慮すべき。（近藤委員）		
③	現況調査の実施にあたっては、調査項目を精査するとともに、調査結果だけではなく、データ分析や課題と合わせて公表すべき。（いしだ委員）		
④	板橋区の魅力や印象について、区外在住者の意見を調査する必要がある。（近藤委員・大野委員）		
⑤	ブランド戦略の推進は、多くの区民に参画してもらい、幅広い意見を反映するなど、区民と行政が一体となって進める必要がある。（いしだ委員・竹内委員）	2	【区民の意見を踏まえた戦略の推進】 ブランド戦略の推進には、区民と行政が一体となって取り組むことが求められる。区職員自らが積極的に町会・自治会、商店街等の地域に足を運び、区民の生の声を聞くほか、女性をはじめ多様な区民に参画してもらい、幅広い意見を施策に反映できる機会を創出する必要がある。
⑥	ブランド戦略の推進に向けては、女性の意見を大切にするとともに、地域の特徴をよく知る町会・自治会、商店街の方々の生の声を積極的に聞く必要がある。（しば委員）		
⑦	地域資源のブランド化に向けては、区職員が直接区民の生の声を聞く機会を増やすべき。（大野委員）		
⑧	板橋区の暮らしやすさに着目し、生活の中で感じる魅力をブランドとしてさらに推進すべき。（竹内委員）		
⑨	既にある素晴らしい地域資源を生かすため、他自治体の好事例を参考に、区が積極的に施策を展開すべき。（しば委員）	3	【地域資源の発掘・ブランド化】 地域資源のブランド化に向けては、板橋区の暮らしやすさに改めて着目するとともに、既にある地域の魅力をより一層引き出すため、好事例を参考に区が積極的に施策を展開すべきである。併せて、区民や区にゆかりの人物を感じる区の魅力をストーリー化して発信するなど、人財を地域資源の一つと捉え、活用する必要がある。
⑩	区民や区にゆかりの人物を感じる区の魅力をストーリー化して発信するなど、人財を地域資源の一つと捉え、活用する必要がある。（岩永委員）		
⑪	板橋区シティプロモーション計画は、区民ニーズと区の施策にずれが生じないように、区民目線での更新が必要である。（大野委員）		
⑫	ブランド戦略等の改定の際には、地域資源に対する区民の認識や実感と区が打ち出す施策の整合性を図るために前提を見直すなど、現状に即したものになるよう努めるべき。（岩永委員）	4	【計画及び戦略の更新】 板橋区シティプロモーション計画及び板橋ブランド戦略については、地域資源に対する区民の認識と区が打ち出す施策に乖離が生じないように、適宜更新する必要がある。併せて、交流人口や定住化促進に向けた取組を着実に推進するため、可視化できる目標を設定するとともに、社会情勢や他自治体との比較を踏まえ、地域資源ブランドの確立に向けた検討を重ねるべきである。
⑬	ブランド戦略については、未来に向けた視点を加え、交流人口や定住化促進に向けた取組を着実に進められるよう、可視化できる目標を設定する必要がある。（坂田委員）		
⑭	地域資源ブランドの確立に向けては、社会情勢、他自治体の現状及び自治体間比較による板橋区の立ち位置等を踏まえた幅広い視点で検討すべき。（寺田委員）		